

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志小学校
校長氏名	住岡 弘子
作成日	令和 8年 3月 16日

1 教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身につけた人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査で県平均正答率と同等にする。 ・授業が分かる(児童80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい(児童80%) ・いじめの解消(児童100%) ・図書の本を借りる(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に取り組んだ(教師90%) ・朝ご飯を食べる(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が伝わった(保護者90%) ・地域の方をゲストティーチャーとして招いた授業を行う。 ・拡大現教で授業の交流を行う。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・児童主体の授業づくり ・家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳・人権学習の充実 ・いじめの早期発見・未然防止 ・読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上 ・基本的生活習慣の確立 ・危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携の充実 ・地域資源の活用の充実 ・中学校区における学校間連携の推進
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図るため基礎学力テストを実施し、取り出し授業・放課後のびっこタイムに個別指導を行った。 ・一人一授業の研究授業・公開授業を実施し、「対話」を意識した児童主体の授業づくりについて研究を進めた。 ・保護者と共有しながら家庭学習の定着を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の視点から見た総合単元的な道徳学習の実践を進めた。 ・人権意識を育むため、人権標語づくりに取り組んだ。 ・いじめアンケートの実施はもちろん、日頃からアンテナを高くしたいじめの早期発見・未然防止に努めた。 ・毎朝読書タイムを設定し、読書活動の推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画のもとで、楽しい体育学習の実施に努めた。 ・休憩時間は運動場・中庭での外遊びを推奨し、縄跳びボード・竹馬も設置した。 ・基本的生活習慣について、「ぼけぼけ貯金」を通して、児童・保護者に啓発した。 ・交通安全教室・避難訓練・警察官による出前授業等を実施し、危機回避能力を養う取り組みを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより・学年だより・HP等を通して学校の様子や取り組みを保護者や地域に発信した。 ・生活科や理科、総合的な学習等で地域資源を活用した。 ・松江小と合同現教を実施し、研究授業の交互参観と協議会を行った。 ・中学校区の小中学校で人権教育について講演会・実践発表会を行った。
取組の成果と課題 (評価結果)【C】	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科を中心に取り出し授業を実施し、基礎学力の底上げに努めたが、11月の基礎学力テストにおいて4月からの改善は見られていない。 ・各授業で「対話」を意識的に取り入れた授業づくりに努め、進んで意見を言うことのできる児童が育っている。 ・全国学力調査で、国語は県平均と同等、算数は下回ったが、理科は上回った。 ・児童の80%が「授業が分かる」と回答した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の91%が「学校が楽しい」と回答した。 ・人権教育の視点から見た道徳学習の充実に努め、道徳科での発言が活発になった。 ・児童会によるあいさつ運動を実施し、あいさつができる子の育成に努めたが、「あいさつができる」と回答した児童は79%と低かった。 ・読書タイムの設定や昼休憩の図書室開放などを実施し、本が好きな児童は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びが好きな児童もいるが、休憩時間を室内で過ごす児童の割合も多い。 ・生活習慣調査を年3回実施しているが、高学年になると取り組みが形骸化しているようで、改善に向かうきっかけになっていないように感じる。 ・交通安全教室・避難訓練等では、真剣に取り組む姿が見られた。 ・地域の方から、自転車の乗り方や道路の歩き方が気になると連絡をいただくこともあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより・学年だより等で学校の様子を保護者に向けて発信した。アンケートで「学校の様子が伝わった」と回答した保護者が73%と目標より大幅に低かった。働き方改革もあり、学級だよりを出すことがまれになった影響もあるのではないかと。 ・店舗や企業・施設・自然等の地域資源の活用はできたが、地域の方にゲストティーチャートしてご指導いただく機会がもてなかった。
改善方法 【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力向上のため、年2回の基礎学力テストは継続実施し、のびっこタイム・放課後のびっこタイムの取り組み内容を、より個別最適なものにする。 ・分かる授業、主体的に学べる授業にするための教員研修を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き人権の視点からみた道徳学習の実践を、学校での生活すべての時間、全教職員で進める。 ・いじめ対策検討委員会を定期的に関き、いじめの早期発見・未然防止に努める。 ・読み聞かせ・情報モラル教室等を積極的に実施し、人権感覚や規範意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の体力向上に係る取り組みを引き続き実施していく。 ・生活習慣調べは、保護者の協力を仰ぎながら丁寧に取り組む。 ・前年度の交通安全教室・避難訓練等の反省を生かし、より実践的な取組を行う。一斉下校訓練の実施、引き渡し訓練の検討をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者・学校が互いに理解を深め連携できるよう、情報発信や交流のあり方を工夫し、地域とともにある学校を目指していく。 ・活用された地域資源を次年度担当に引き継ぐ。 ・ゲストティーチャーを招く出前授業を積極的に取り入れる。

3 その他の課題

近畿道徳教育研究大会に向け、引き続き主体的に取り組める「対話」を重視した授業づくり、挨拶等礼儀の徹底、環境美化等に努める。